

協力雇用主へのインタビュー

協力雇用主とは・・・

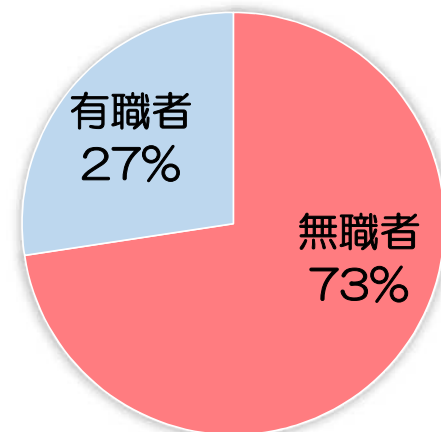
犯罪や非行をした人（刑務所出所者等）の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪や非行をした人を雇用し、又は雇用しようとする事業主の方々です。

刑務所再入所者の約7割は再犯時に無職です。これらの人への就労支援を効果的に実施し、再犯や再非行を防止するためには、協力雇用主の方々の存在が不可欠です。

協力雇用主として登録を希望される場合は、名古屋保護観察所にご相談ください。

(TEL052-951-2941 就労支援班)

再犯をして刑務所に戻った人の多くが、仕事をしていませんでした



(令和5年、矯正統計年報による。)

協力雇用主インタビュー01

協力雇用主になったきっかけは？

「株式会社 大輝」(名古屋市)
代表取締役 安井 さん
協力雇用主歴 11年



タウンワークで従業員を募集していた頃は、過去のことを隠して入社してくる人が多く、雇用前の事件で逮捕され、初めてその従業員のことを知ることが多くありました。

それなら過去の事情を承知で雇用し、隠し事なく真面目にやり直して頑張ろうとする人を応援した方がよいと考え、協力雇用主になることを決めました。

他の従業員に対しては？

他の従業員に刑務所を出た人とは言わないですが、社長が連れて来る人は、つまりいたことがある人だとわかっていると思います。大切なのは、やり直そうとしている人に対し、刑務所に入ったことで白い目で見たり、見下さないこと。そのようなことがあれば、注意します。

協力雇用主インタビュー01



協力雇用主として大切にしていることは？

- 刑務所に入った人と真正面から向き合うこと
- 雇用主としてぶれないこと
- 嫌な事があったり、イライラして連絡してきた時は、時間を作ることです。

配慮していることは？

雇用を考える時は、刑務所まで会いに来てくれたり、手紙の返事を書いてくれる人がいることを知ってほしいと思い、全国どこの刑務所でも必ず面会に行くようにしています。こちらからボールを投げ続け、なかには、刑務所を出所する何年も前から毎年面会に行く場合もあります。

清らかな気持ちで“**その人とのご縁**”を大切にし、自分として“**やることを続ける**”なかで、信頼関係を作るようにしています。

協力雇用主インタビュー01

雇用した人に望むことは？



2つのルールを守るよう伝えています。

①二度と再犯をしないこと

②社会とのズレを指摘された時に直すこと

お金の使い方やギャンブル、異性問題等、社会の一般的な考えからのズレに気付き、直していくことが大切です。

ずるい考えを持っている人には、真正面から向き合って話をし、嫌なことがあったら相談に乗り、良いことは一緒に喜ぶようにしています。

協力雇用主としてのやりがい？

保護観察となり雇用した後、何度か問題を乗り越え、真面目に仕事を続け立ち直った従業員に“**事業独立の支援**”した時の“**喜び**”は、言葉にできません。このことは他の従業員にも、先の光が見える希望となり、励みとなります。

協力雇用主インタビュー02

協力雇用主になったきっかけは？

「株式会社 村上工業」（名古屋市）

代表取締役 藤井 さん

協力雇用主歴 8年



たまたま見ていたテレビで、刑務所を出た人は仕事に就けず再犯する人が多いことを知りました。

仕事に就くことができれば、やり直せる人がいる。それなら、私の会社で犯罪をした人を雇用し、やり直す機会にしてほしい、そういう人達を助けたいと思い、協力雇用主になりました。

犯罪をした人の雇用経験がなかったので、作業員同士がうまくやれるのか、また、現場で迷惑をかけることが起きたりしないか等、多少の不安はありましたが、それよりは“やり直したい人の助けになりたい”との思いが強くなりました。

協力雇用主インタビュー02

配慮していることは？



現場の責任者に対し、犯罪や非行をした人に関することは言わないようにしています。対象者の方が周囲から特別な目で見られないよう、また、その人が特別な目で見られていると感じないように配慮しています。

私自身も、頻繁に声をかける等、特別扱いはせず、見ていて気になることがある時に声をかけるようにし、他の従業員と同じように接するよう心がけています。

対象者の方と接する時は、取り繕わず、上から目線になることはせず、本音で話をします。

また、やり直そうと思って会社に来ている人達なので、「他の従業員に過去のこととは話さなくてよいから」と本人達に伝えています。

協力雇用主インタビュー02

協力雇用主としてのやりがいは？

私自身は、従業員皆に助けられていると思っています。

対象者の方によっては、短期間で辞めてしまう方もいますが、長く仕事を続け再犯と縁のない生活が続けている姿を間近に見ていると、

“協力雇用主になって**よかった**”
と思います。

エピソード

ホームレスのような生活をしていた人が入社してきた時に散髪して衣類を与え働けるようにしてあげたり、洋服の購入を趣味にしている対象者の方が購入した洋服を着て私に見せに来てくれたり、怪我をした家族のことを話しに来てくれる時は、“**取り繕わず地で話をしてくれてよかった**”と感じます。



協力雇用主インタビュー03

協力雇用主になったきっかけは？

「豊栄工業株式会社」（名古屋市）
代表取締役 木村 さん
協力雇用主歴 45年位



会長の代から協力雇用主として犯罪をした人達を雇用しています。きっかけは、新聞の求人欄で募集したところ、刑務所を出て“更生保護施設”に帰住した人が応募してきました。これを機に更生保護施設に入所している人を多数雇用してきました。受刑者の中には、働いて頑張ろうとする人達が大勢いますよ！！

従業員のコメント

3年間の執行猶予中は頑張ろうと思っていましたが、今まで同じ会社で2回夏を越した経験がなく短期間で転職を繰り返していましたので不安でした。会長や社長が毎日声をかけてくれ、新規の現場に入る度に勤続年数を知る機会はありませんでしたが、知らない間に3年が経過していました。

今は“逃げるのはやめよう、ここで頑張ろう”と思っています。

協力雇用主インタビュー03

配慮していることは？



これから真面目に頑張る人の立ち直りを応援したくて協力雇用主を続けていますので、**過去に何の事件をしたのか、一切聞きません**。聞くことで変なイメージが沸くのはよくないですし、採用面接時の印象を大切にしています。

本人達にも、何の犯罪をしたか言えば、そういう目で見られるから言わないように伝えています。

エピソード

夕方、現場から帰ってきた従業員から「他の会社の人から、何の事件をしたのか？聞かれた。」と報告を受けました。その話を聞いた途端“怒りに震え”すぐに相手の会社の社長の所に飛んで行きました。「**やり直そうとして頑張っている人に、どうしてそんなことを言うのか！！**仕事と何の関係もないではないか。」と訴えました。相手の社長も理解してくれ、翌日の朝礼で全従業員に注意をしてくれました。その会社とは、今でも仕事のパートナーとしてよい関係を続けています。

協力雇用主インタビュー03

協力雇用主としてのやりがいとは？



これ位しかできないと思っていた人が、現場で期待以上にやってくれる時は嬉しいです。問題が起きても話し合って、やる気を取り戻してくれた時は、協力雇用主としてだけでなく、人としてよかったと感じます。

退職後も頑張っていることを報告してくれる人もいます。

従業員の**誕生日**には、会社から**メッセージを添えてケーキ🍰**をプレゼントしています。メッセージは、従業員と一緒に働いている私（社長）の息子が書いていますが、そのメッセージを読んで泣く人がいます。何が書いているか教えてもらえませんが、翌日、メッセージを読んだ従業員が私に感謝の言葉を言いに来てくれた時は、喜んでもらえて“よかった”と思います！！